

# 令和4年度 金ヶ崎高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～おかげさま・お世話様・お互い様の職場環境を目指して～

〇〇学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現状

- ・時間外勤務/月:80h以上 延2名(R2 6名)。100h以上 延0名(R2 0名)。
- ・健康管理区分C1 50%(R2 50%)。
- ・月平均休日出勤回数0.9回/人(R2 2.1回)。
- ・夏季休暇取得日数4.5日/人(R2 4.4日)。年休取得日数14.3日/人(R2 8.9日)。
- ・月平均時間外勤務30.5h/人(R2 33.3h)。人間ドック・脳ドック受診者6名(R2 1名)。
- ・三大大会(役員)等に係る振替取得率約90%
- ・少ない教職員で多様な業務に取り組んでおり、負担を感じる教職員が少ない。
- ・新規事業及び新型コロナ対応等の業務増で、負担を感じる教職員が少ない。

## 2 目指す姿

- ・教育公務員としての矜持と誇りを持ち、元気で生き生きと働いている。
- ・「チーム金高」の意識のもと、生徒への愛情と情熱を持って働いている。
- ・「おかげさま」「お互い様」という崇高な理念を共有し、フォローし合う職場である。
- ・日常的なOJTにより業務が効率化され、生徒と向き合う時間が確保されている。
- ・ワークライフバランスが保たれ、ゆとりを持って業務に取り組んでいる。
- ・有給休暇の取得等により、教職員が家庭で過ごす時間を十分確保している。

## 3 取組内容

### 〇 教職員の健康管理

- ・年休・特休・特割・振休の取得推進を図ります。
- ・特定保健指導等の利用による健康増進に取り組めます。
- ・メンタルヘルス相談の活用促進を図ります。
- ・管理職が健診結果に配慮し、積極的受診を勧めます。
- ・管理職が、大会引率振替等について一覧で周知します。
- ・管理職が休暇取得について積極的に声掛けをします。

### 〇 学校における業務改善の推進

- ・学校閉庁日の設定と遵守を図ります。
- ・時間外電話対応について、留守番電話の活用を図ります。
- ・当面は会議資料の事前配付と論点明示に努めます。
- ・時機を見て職員会議のペーパーレス化を図ります。
- ・上記により、定例職員会議1時間以内に努めます。
- ・管理職が、会議の精選・効率化を積極的に提案します。
- ・note活用・HP刷新により印刷配付物の精選を行います。

### 〇 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・生徒指導について、積極的に在少・警察・その他行政当局等外部組織との連携を図ります。
- ・教育相談について、積極的にSC・SSW・警察・児相・その他行政当局等外部組織との連携を図ります。
- ・出欠連絡のデジタル化の検討等、教職員が担うべき業務について、精選と効率化を図ります。

## 4 目標

- ・月平均時間外勤務/人→30h未満
- ・夏季休暇所得率→100%、年休取得日数/人→14日以上
- ・三大大会(役員)等に係る振替取得率→90%以上
- ・ノー延長デー(毎週水曜日)の完全実施
- ・学校評価アンケート「適切な業務推進や効率化のための改善を行っている」→60%以上
- ・学校評価アンケート「自身は健康で生き生きと働いている」→75%以上

令和4年5月31日 金ヶ崎高等学校長 宮 学

### (参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

#### 【策定趣旨】

- 〇 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

#### 【プランの目標】

##### 目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者を令和3年度からゼロにする。

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間		
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 5割減	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超			

##### 目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。